

法曹養成制度に関する検討ワーキングチーム（第4回）議事概要

1 日 時

平成22年4月12日（月）午後1時30分から午後2時45分まで

2 場 所

法務省第1会議室

3 出席者

加藤公一法務副大臣，鈴木寛文部科学副大臣，高井美穂文部科学大臣政務官，林眞琴法務省大臣官房人事課長，深山卓也法務省大臣官房司法法制部長，徳永保文部科学省高等教育局長，菅野雅之最高裁判所事務総局審議官，片岡弘東京地方検察庁総務部長，丸島俊介日本弁護士連合会囑託，井上正仁東京大学大学院法学政治学研究科教授，鎌田薫早稲田大学大学院法務研究科長（敬称略）

4 議事概要

- 公法系科目（憲法）・民事系科目（民法）・刑事系科目（刑法）の各新司法試験考査委員（別添1）に対するヒアリングを実施した（参考として別添2の資料が配布された。）。

ヒアリング対象者から，新司法試験の出題趣旨及び採点実感，採点実感を踏まえた法科大学院教育に対する要望等について説明が行われた。

その後，考査委員が求める到達水準とその設定のあり方，採点結果からうかがわれる実際の受験者（法科大学院修了者）の水準等について，質疑応答・意見交換が行われた。

- 井上委員から「法曹養成制度（特に法科大学院及び新司法試験）をめぐる現下の状況」について，レジюме（別添3）に基づき，説明が行われた。

鎌田委員から「法科大学院と新司法試験の関係」について，レジюме（別添4）に基づき，説明が行われた。

その後，各説明に関連して，法科大学院の進級判定・修了認定の厳格化の在り方，都市部・大規模校の更なる定員削減の可能性，地域適正配置と地方の法科大学院の在り方，コア・カリキュラムの内容等について，質疑応答・意見交換が行われた。

以 上